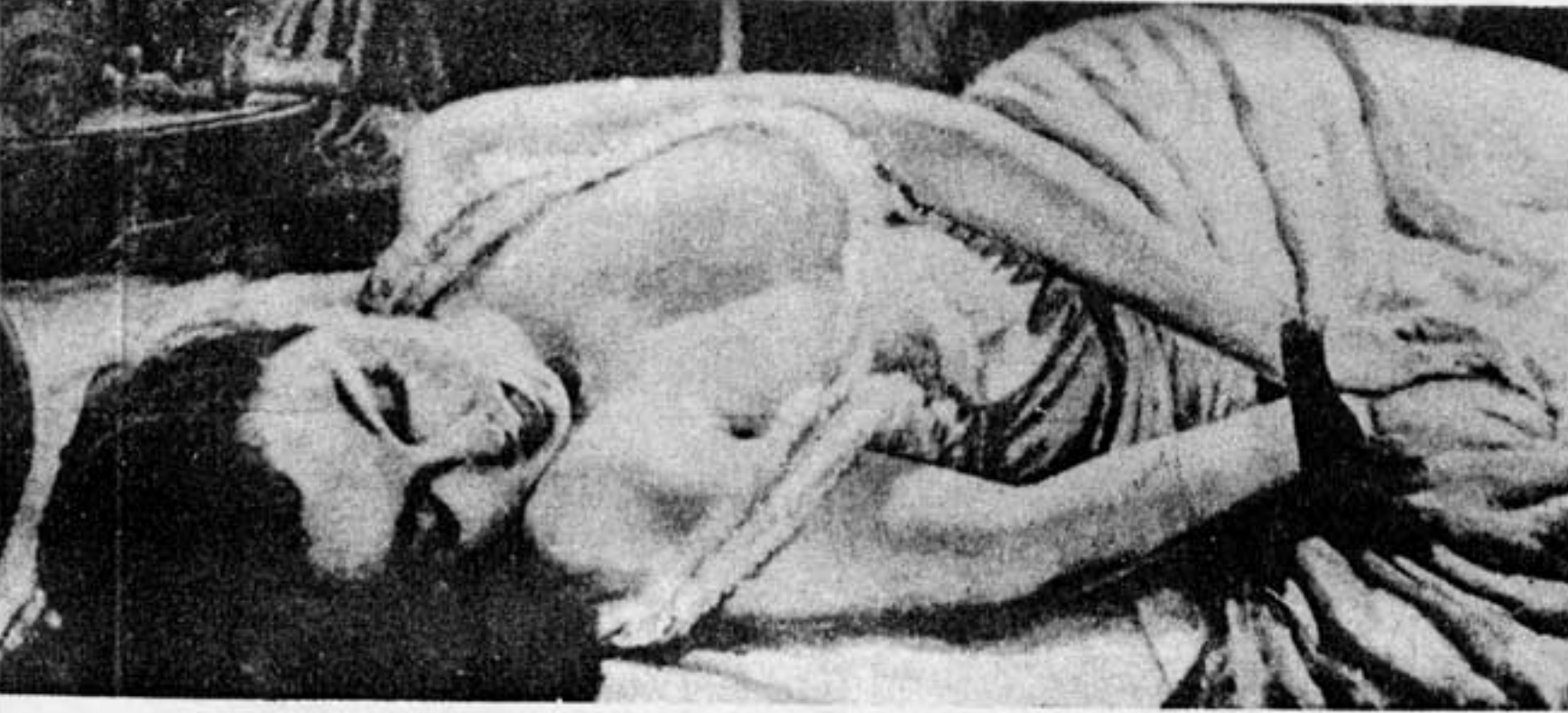
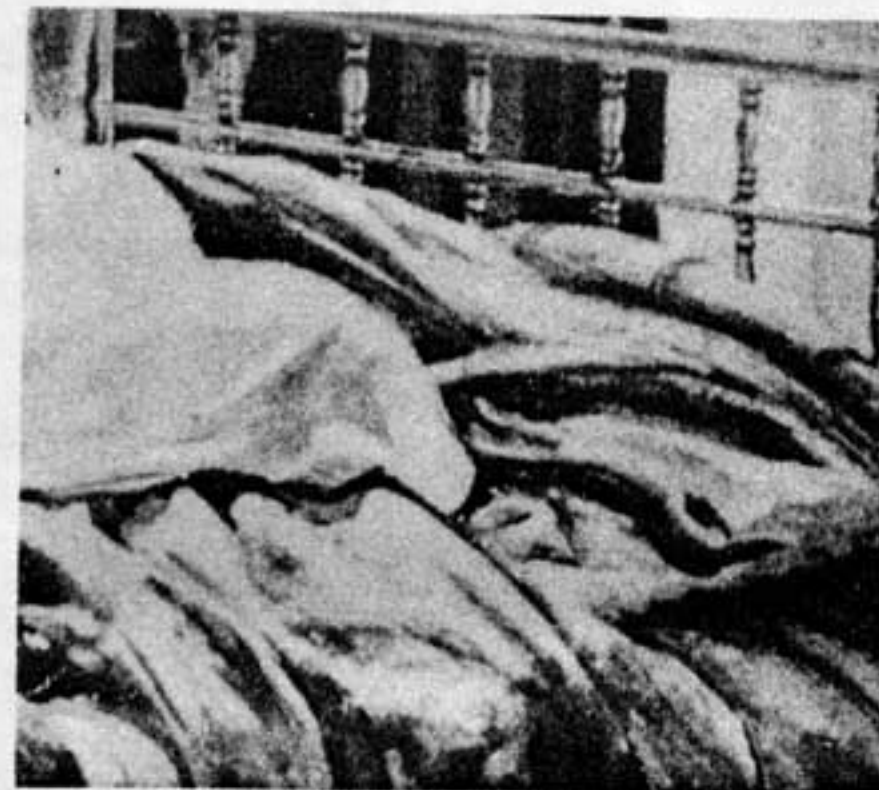


表紙……………田上恵子
さし絵・カット…江馬美久
小田利美
田上恵子



(多色口絵) 子供の拷問部屋……………A・Z (折込)

グラビア

あわれ縛愁えり子(二二) 丸窓の前でさくら(二六)
囚花えり子(二二) 廊下の狼藉由美子(二八)
制服は悲しからずや由美子(四) 凄艶全裸しほりみち(三〇)
乳房をかむ縄さくら(二六) 縛すがた5態……………(三二)
縄の悶姿えり子(二八) あるヌーティスト……………(三四)
とらわれの裸形さくら(二〇) <モデル>
野外の縛女由美子(三二) 風早由美子 西条さくら
ハリツケ縛りみち(二四) さつきみち 別府昭彦



海水着の尻たたき・尻打ち・平手打ち・尻たたき・拘束された女・あたしのえも の・縛られた男・男を馬にして (三五)

なる美妖女体責め絵集

ネコがひっかく……………田上恵子(四四)
イレズミ責め……………田上恵子(四五)
焼き印を押す……………田上恵子(四六)
落城のいけにえ……………古正英生(四八)
ハタキ責め……………古正英生(五〇)

マゾヒストの手紙⑧

谷貫太(六四)

秘帖(4) 三人のソドミアとの会見……………かびや・かずひこ(八四)
★アブノーマルについて……………大達欣治(五二)
〔トビツク〕 芸者ボーイ料亭は大繁盛……………(六三)
〔ロータリー〕 男性・女性歌手のお目見得……………(七四)

★ホモの窓……………(三八)
★女装愛好の部屋……………(六二)
★サロン・マソキスチカ……………(一〇〇)

美少年アルキビアデスのこと……………番場多計夫(一五八)
あたしの女装生活ありのままの告白……………湯島ゆり子(二二)

鞭の味を知らされた少年……………高木清明(二五三)
男色に狂った情痴の果て……………磯村英作(二四八)
妻をいじめる私の方法……………領家誠(九七)
★読者サロン……………(七六)
★編集室より……………(八四) ★代理部のご案内……………(八四)

鞭打悦虐小説特選集

死を呼ぶ鞭打……………真野麗(五二)
白い双丘(あるヒップ物語)……………真崎伸一(二四〇)
地獄の密航船……………青山三枝吉(六四)
ドリー・モルトンの思い出……………稲見悦郎(七)

お尻をムチ打たれるジネット……………北ミシヨル・クレール(七四)
「長靴屋」さんの女たち……………岡村芳夫(九二)
女体標本……………獅々村裕(一〇二)

あわれ縛愁



縄が愁いに沈み 肌が愁いにとまどう あわれ
れ とらわれの愁い (モデル・西牧えり子)





囚
花

とらわれの花は 愁いと恥じらいを含んで
あやしい魅惑のただよう中に 咲く

しからずや

のびのびと発育したカモシカのような脚が
セーラー服のすそを乱して白い 制服フェチ
シストに虐げられて〈モデル・風早由美子〉



制服は悲

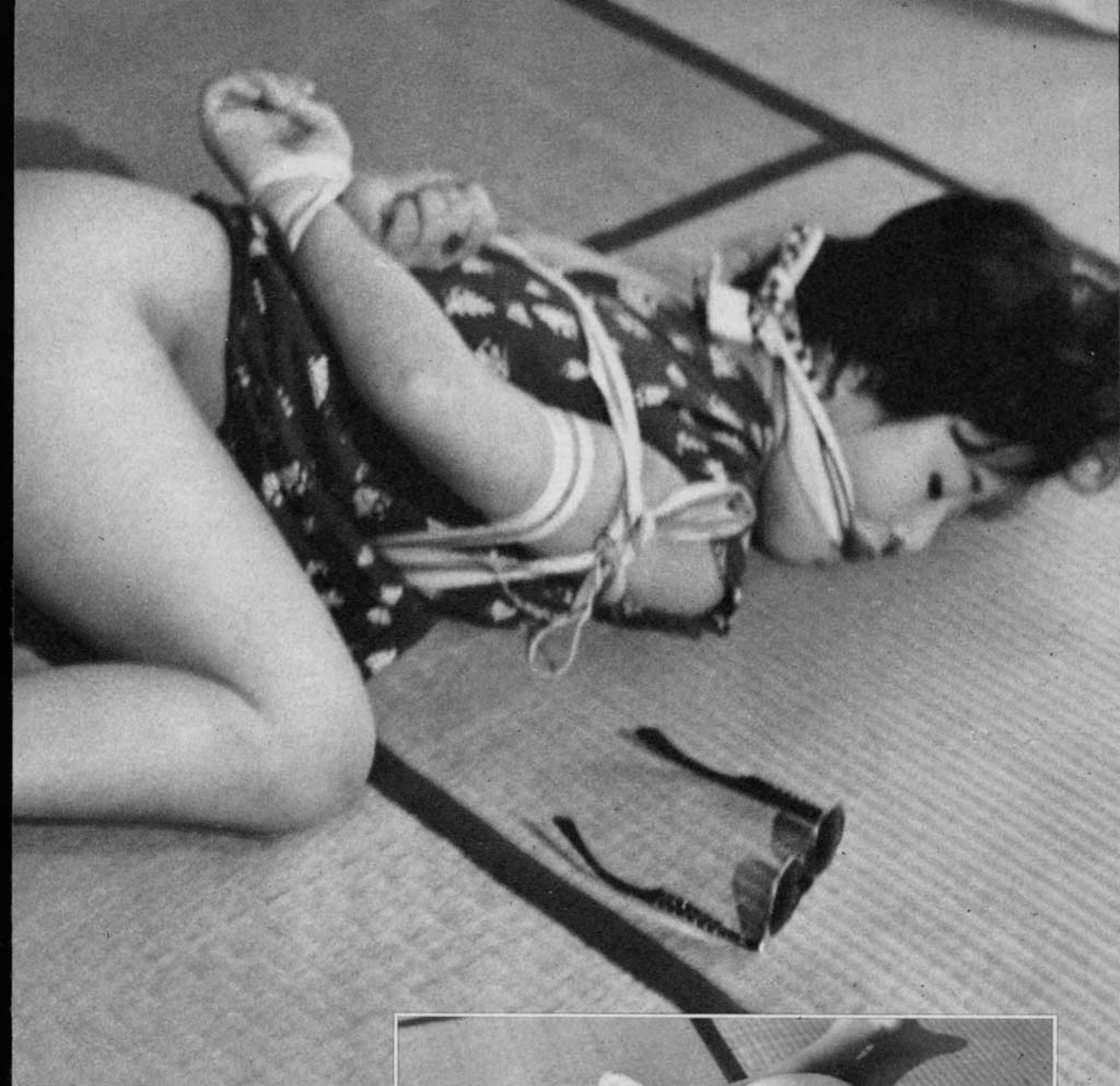




乳房をかむ縄

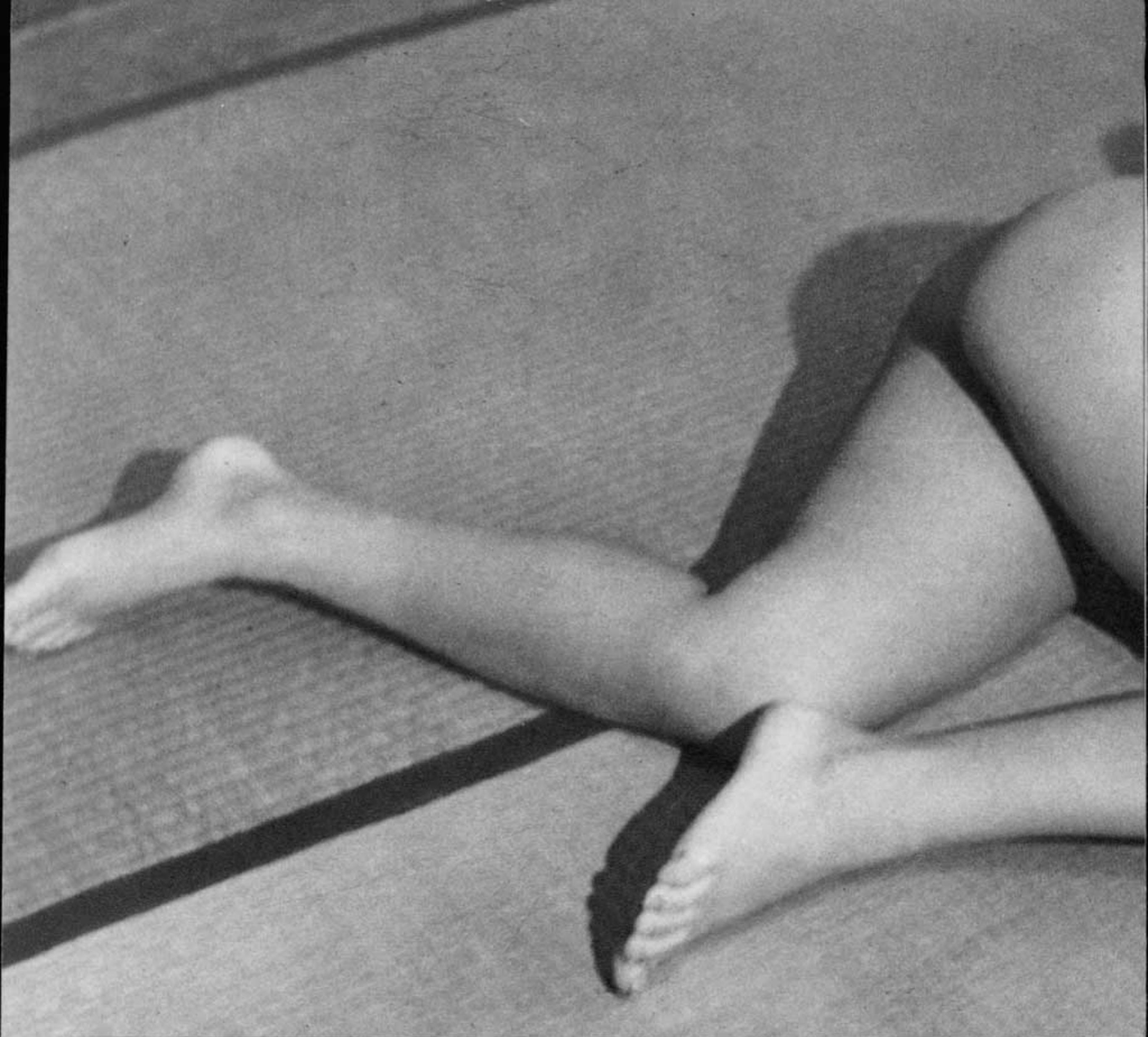
思いきり発育した豊満な乳房に巻きつく縄 上から下からキリキリと肌をかみ 女の急所をいためつける 髪も乱れ 息をあえがせて この嗜虐に耐えるとき 女の悲しい生理が目をさまして 不思議な陶酔をよびさまし あやしい法悦が 女のころろにもからだにも満ちてくる〈モデル・西条さくら〉





縄の悶姿

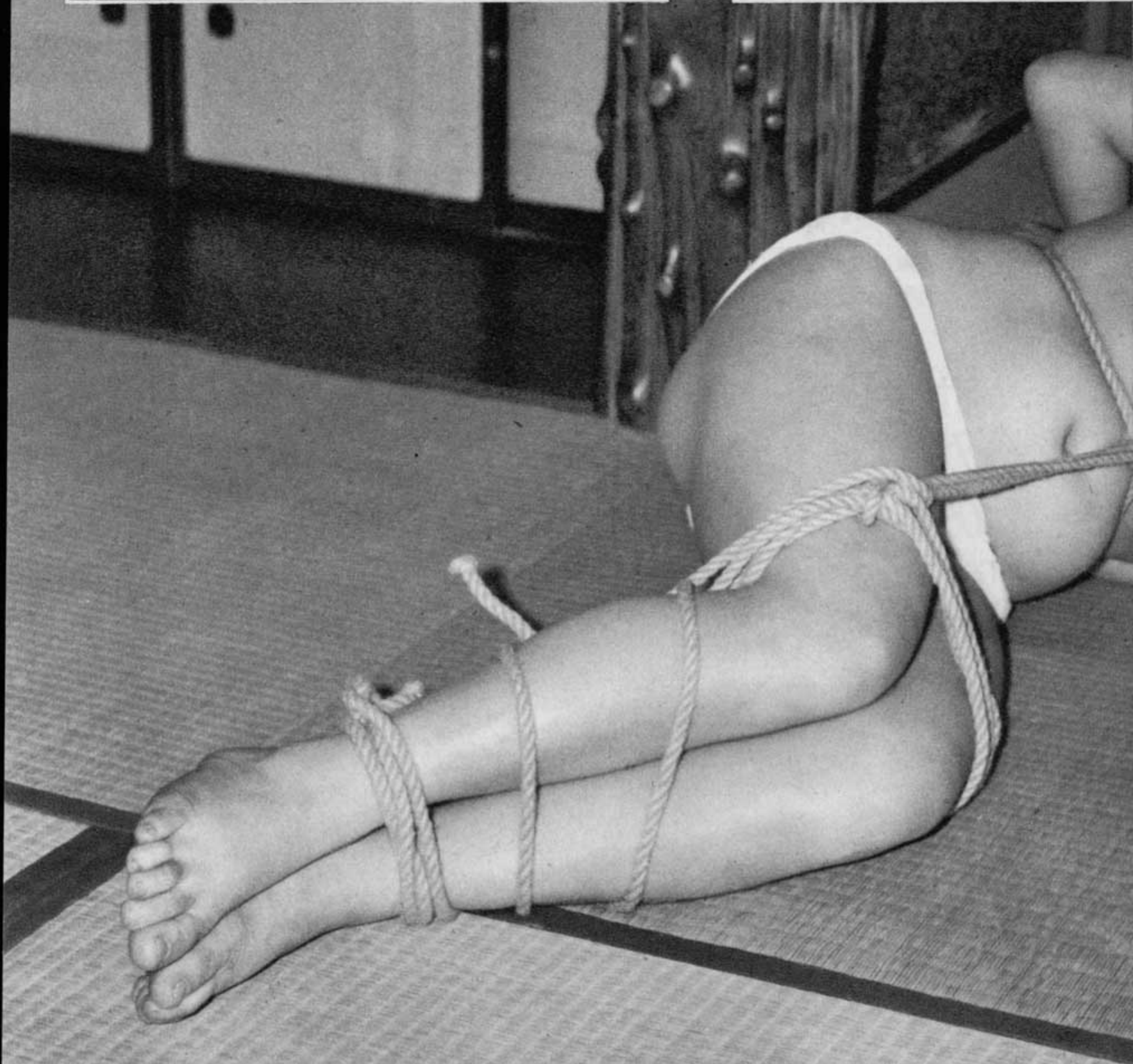
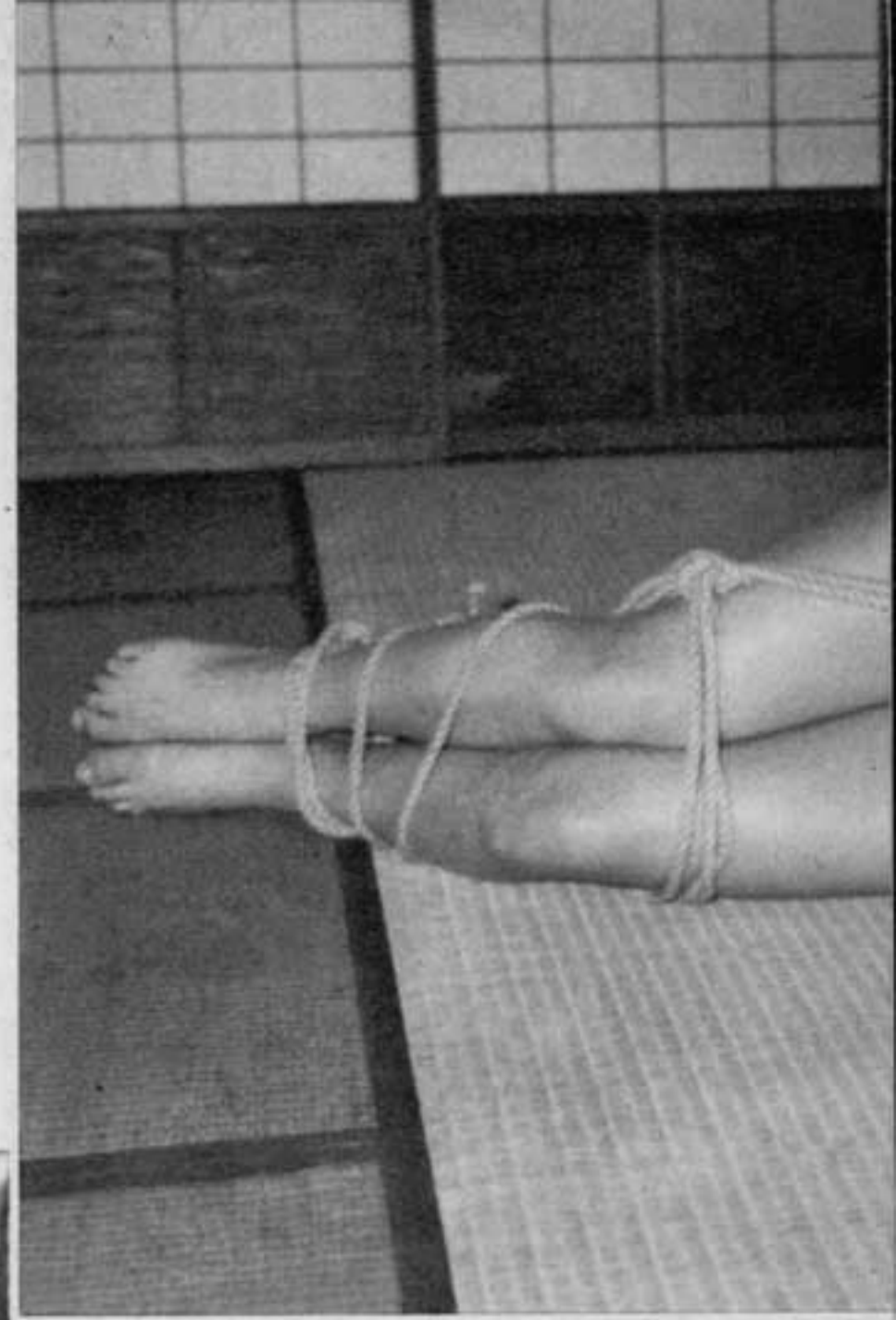
縄をかけられて もだえる女 下半身もあらわに 虐待に耐えるのだが 口をふさがれているので 助けを求めるわけにも いかない



とらわれの裸形

ひしひしと縄目を受けて ハダカの女が 床の間にころがされて とらわれの時が いつまでもつづく 乳房があえぎ 全身で身もだえしても 囚人としての処罰がすむまでは 放されないのだ とらわれの哀れな女





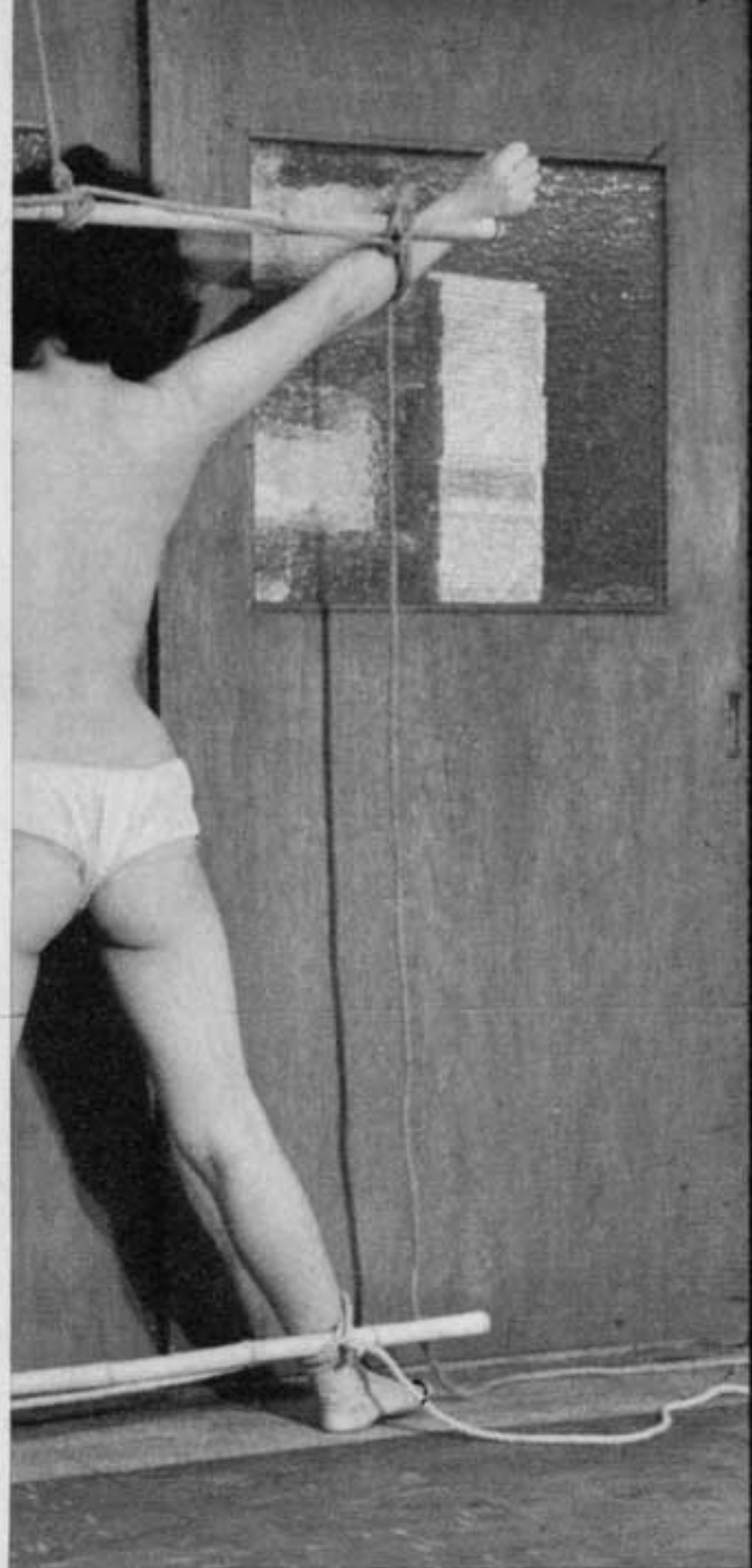


野外の縛女

黒々と古木がそびえ 女が
ひとり裸体で縛られている
その白と黒の 奇妙な対比









ハリツケ縛り

手と足をひらいたまま 棒でしばられた姿は 立
ったままのハリツケだ 全身を開放した女の無防
備状態だ どんな残酷な責めも 甘んじて受け入
れなければならない一瞬だ 哀れにも痛ましい 女
の宿命の姿とも言えよう (モデル・さつき みち)



丸窓の前で

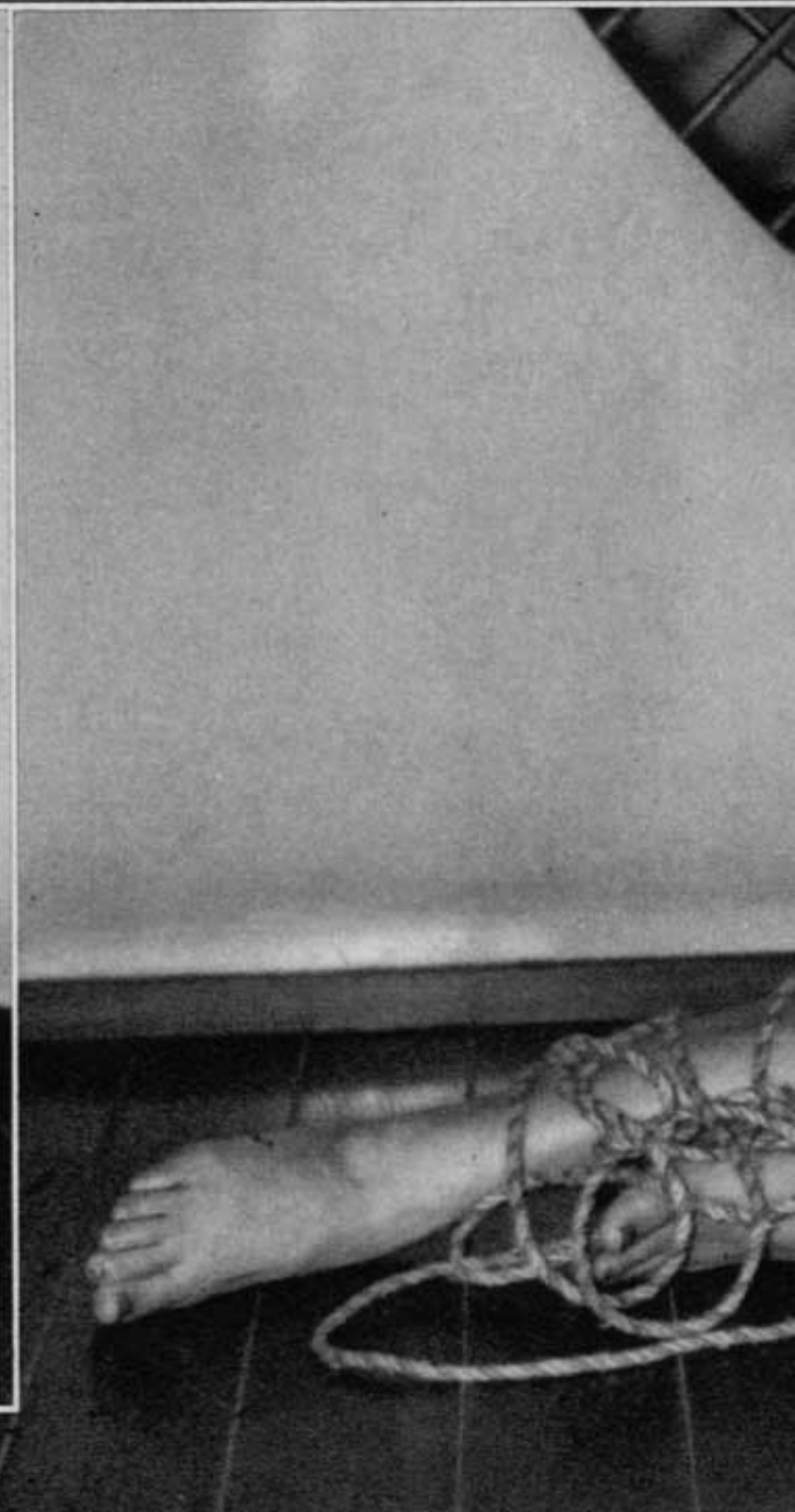
立ったまま縛られて 重い木の置き物を背負わされて これはどういうお仕置きのためか



廊下の狼藉

ここは廊下の片すみ その板敷きにころがされた緊縛の女 ガラス越しに 冬の半透明な光線を浴びて ひえびえと 縛虐の時に親しんでいる 首に巻いた縄が うしろに回した手首に結ばれ いたいたしい裸形が しろい





凄艶全裸しばり

全裸のままうしろ手に縛られ、いろいろに身をよじるが、縄目からのがれることはできない。縄が肌に痛いだけでなく、床が凍るような冷たさを伝えて寒い。だが、その冷気の中に燃えるものがある。

